⑵　和歌山労災病院他４件

ア　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

用　途　病院跡地等

場　所　和歌山県和歌山市他

種類及び帳簿価額　建　物　帳簿価額　　493,200円

土　地　帳簿価額　202,259,222円

イ　減損の認識に至った経緯

固定資産が使用されている範囲について、当該資産の使用可能性が著しく低下しており、当該資産の全部の使用が想定されていないため、減損を認識しております。

ウ　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

種　類	損益計算書に計上した金額	損益計算書に計上していない金額
建　　物	—	—
土　　地	—	—

エ　回収可能サービス価額

建　物　正味売却価額としております。

正味売却価額の算定に当たっては、不動産鑑定評価額に基づいており、帳簿価格を下回っていないため、減損損失は計上しておりません。

土　地　正味売却価額としております。

正味売却価額の算定に当たっては、不動産鑑定評価額及び公示価格等に基づいており、帳簿価格を下回っていないため、減損損失は計上しておりません。

⑶　旧労災リハビリテーション宮城作業所他１件

ア　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

用　途　労災リハビリテーション作業所跡地

場　所　宮城県宮城郡他

種類及び帳簿価額　土　地　帳簿価額　1,029,004,663円

イ　減損の認識に至った経緯

独立行政法人自らが、固定資産の全部につき使用しないという決定を行ったため、減損を認識しております。

ウ　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

種　類	損益計算書に計上した金額	損益計算書に計上していない金額
土　　地	—	—

エ　回収可能サービス価額

土　地　正味売却価額としております。

正味売却価額の算定に当たっては、公示価格等に基づいており、帳簿価格を下回っていないため、減損損失は計上しておりません。

⑷　水上荘

ア　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

用　途　休養所

場　所　群馬県利根郡

種類及び帳簿価額　土　地　帳簿価額　44,096,300円

イ　減損の認識に至った経緯

固定資産が使用されている範囲について、当該資産の使用可能性が著しく低下しており、当該資産の全部の使用が想定されていないため、減損を認識しております。

ウ　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

種　類	損益計算書に計上した金額	損益計算書に計上していない金額
土　　地	—	—

エ　回収可能サービス価額

土　地　正味売却価額としております。

正味売却価額の算定に当たっては、不動産鑑定評価額に基づいており、帳簿価額を下回っていないため、減損損失は計上しておりません。

Ⅱ　減損の兆候が認められた固定資産（減損を認識した場合を除く）

⑴　鹿島労災病院職員宿舎他３件

ア　減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

用　途　職員宿舎

場　所　茨城県神栖市他

種類及び帳簿価額　建　物　帳簿価額　224,040,709円

イ　認められた減損の兆候の概要

固定資産が使用されている範囲について、当該資産の使用可能性が著しく低下しているため、減損の兆候が認められました。

ウ　当該資産の全部又は一部について、将来の使用の見込みが客観的に存在している根拠

全178戸の内、126戸が未使用となっていますが、そのうち106戸は経常的な保守管理を行っており、今後も職員の入居が見込まれているため、減損の認識に至りませんでした。

Ⅲ　独立行政法人自らが固定資産の全部又は一部につき使用しないという決定を行った場合であって、その決定が翌事業年度以降の特定の日以後使用しないという決定をした固定資産

⑴　富山労災病院

ア　使用しないという決定を行った固定資産の用途、場所等の概要

用　途　病院

場　所　富山県魚津市

イ　使用しなくなる日　平成29年度（予定）

ウ　使用しないという決定を行った経緯及び理由

富山労災病院は増改築工事を行う予定となっており、一部の既存建物等は使用しないという決定を行いました。

エ　将来の使用しなくなる日における固定資産の種類、帳簿価額、回収可能サービス価額及び減損の見込額

種類及び帳簿価額　建物等　当事業年度の期末帳簿価額　647,067,269円

回収可能サービス価額及び減損額の見込額は、算定が困難なため記載しておりません。

⑵　旭労災病院

ア　使用しないという決定を行った固定資産の用途、場所等の概要

用　途　病院

場　所　愛知県尾張旭市